特定非営利活動法人 ワネッツ

# 活動報告書

第 6 期

(2022年4月1日 ~ 2023年3月31日)

2023年5月28日

# 強制余白

#### 1. 活動の目的

#### 1-1. 決意

特定非営利活動法人ワネッツ(以下「ワネッツ」という。)は、以下の決意のもと 2017 年 4 月 6 日に設立した。

なお、2022 年 12 月、ワネッツは NPO 法に定める認定 NPO 法人格を取得した。

私達は、領南地方を中心に、この地域の人口構成上の中核となる高齢者によって、 イノベーション(従来のモデルを改革して社会的に意義のある新しい価値を創造し、 社会に大きな変化をもたらす活動)を進めるために、特定非営利活動法人を設立す る。

また、この法人が管理運営する「地域住民のための原子力緊急時援助隊(NEATR: ニーター)は、緊急時において不公平感のない中立的な組織として、行政のみならず自主防災組織などの住民自主活動も支援する。これは、この地域の災害の復元力(レジリエンス)の向上にも大きく寄与するものであると信ずる。

#### 1-2.目的

この決意のもと、ワネッツの定款において法人の目的を設定した。

この法人は、地域住民、地方公共団体および原子力事業者等に対して、原子力緊急 時における防護対策および災害応急対策ならびにこれらの準備に関する支援等を行い、地域の防災・減災力の向上に寄与することを目的とする。

この定款の目的を、2019年9月、以下のように改定した。

この法人は、地域住民および関連組織との間で原子力緊急時に関する<u>リスクコミュ</u><u>ニケーション</u>を実施することで、地域に備える防災力の向上ならびに緊急時となった場合の減災力の向上に寄与することを目的とする。

#### 1-3. 事業

この目的を達成するため、特定非営利活動促進法で定める災害救援活動および地域安全活動の領域で、以下の5つの非営利事業を実施することとした。

- (1) 地域住民のための原子力緊急時援助隊運営事業(以下、「NEATR運営事業」という。)
- (2) 地域住民のための原子力緊急時援助隊隊員等研修事業(以下、「NEATR 隊員等研修事業」という。)
- (3) 緊急時ツール開発管理事業
- (4) 原子力および放射線緊急時知識普及事業
- (5) 関連付随事業

# 2. 2021 年度の活動の成果

#### 2-1 特定非営利活動事業における成果

ワネッツの2022年度(第6期)の活動については、第7回通常総会(2022年6月27日、テレワーク(テレビ会議)方式)の議決を踏まえ、リスクコミュニケーションの技術を用いて、地方公共団体

および関係ステークホルダーとの連携をはかるなどして、以下の項目を重点的に実施した。詳細は 添付資料の活動報告資料に記す。

- ・ 2022 年 11 月、国、福井県、美浜町等が主催する令和 4 年度原子力総合防災訓練に参画し、全体として非公開の部分が多い中、短期間集中的に福井県および美浜町との事前調整を行い、広域避難所支援および屋内退避支援の地元住民を交えた研修を行った。
- ・ 2022 年 5 月 27 日(土)、福井県国際交流センターのご支援を得て、実際の災害時において在留外 国人の支援を受けいれが可能かどうかを探るため、災害時外国人支援実働研修を行った。
- ・ 2022 年 2 月 24 日に発生したウクライナ戦争に関し、ウクライナ支援を行っている災害時実働 団体に寄付をする事業を行うとともに、NEATR 戦略本部の運営に資するものを見出すため、戦略本部運営技術開発を行った。
- ・ 2023年3月25日(土)、毎年恒例の311特別企画事業として、現職との対話、美浜発電所構内見学、美浜発電所長のご講演、原子カシニアネットワークの会員のご講演を企画実施した。

# 2-2. その他事業(収益事業)における成果 収益事業は実施していない。

#### 2-3 運営における成果

2023 年 9 月に、それまで得ていた特例認定 NPO 法人格を、認定 NPO 法人格に引き上げるための申請を行い、厳しい書類審査および現地検査を経て、2023 年 12 月 13 日に、同法人格を福井県知事よりいただいた。これは福井県では 5 番目、嶺南地区では初の快挙である。

ワネッツの運営は、定款に定める事業が成立し、かつ継続的な改善が可能となるよう、以下の活動を実施し、それぞれ、前第1-1項に示した成果に寄与させることができた。また、昨年に引き続き2022年度の補助金申請1件(福井県わくわくチャレンジ)を行ったが採用とはならなかった。これによりワネッツ発足以来、10件申請で補助金獲得は2件、採用率20%となった。

- ・ 月次会計報告書でのキャッシュフロー分析および事業費明細の表示
- ・ 福井県等主催のボランティア研修会への積極参加
- ・ ワネッツの正会員および賛助会員の獲得
- ・ NEATR 隊員の獲得
- ・ 継続的な寄付募集
- ・ コマンドシステムの導入、定着
- ・ ホームページの運営、ワネッツ会報および NEATR 機関紙の発行

#### 3. 事業の実施に関する事項

#### 2-1 特定非営利活動における事業

前1-3項に基づく事業を、役員会で個別の事業を設定し、その後個別事業の実施計画を承認するというステップで、各年度10件程度を目安に実施してきている。

#### 【各年度事業実施件数】

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
個別事業件数	9	9	8	8	8
内継続事業件数	0	0	1	0	3

2022 年度は、過去最大の 10 件の事業を設定し実施した。なお、内 1 件は 2021 年度から継続したものである。

区分	事業名	実施日	内部/外部参加者	実施場所/実施内容
(1)NEATR 運営	2022 年度コマンド	2021年	23名/	美浜町はあとぴあ、大飯中学校
事業	システム演習事業	10月30日	95名	体育館、美浜町佐田地区
	災害時外国人支援事	2022年	4名/	小浜市食文化館
	業	5月27日	9名	
(2)NEATR 隊員	戦略本部運営演習事	2022年8月21	18名/	敦賀市あいあいプラザ
等研修事業	業	日、25~26日	8名	
	3 1 1 特別企画事業	2023年3月25	9名/	関西電力美浜 PR センター
		日	4名	関西電力美浜発電所構内
(3)緊急時ツール	NEATR 戦略本部技	2022年2月~	10名/	ワネッツ小浜事務所
開発管理事業	術開発事業(継続)	2023年3月	0	自宅等
	2021 年度若狭湾工	2022年12月	4名/	ワネッツ小浜事務所
	さい さいけい さいけい さいかい こうかい こうかい こうかい こうかい こうかい こうかい こうかい こ	~2023年1月	10名	若狭湾工之研
(4)(百フ もも) トッド	防災基礎研修事業	2022年6月、	24名	
(4)原子力および 放射線緊急時知		7月	120名	対比タ、石川県が年間とター
放射線索急時知   識普及事業	放射線空気壁打破事	2021年6月~	14名	ワネッツ小浜事務所
	業(継続)	(継続)	20名	福井県国際交流センター 他
	アウトリーチワーク	2022年6月~	10名	ワネッツ小浜事務所
	ショップ		0	各役員自宅
(5)银职市/	災害時実働団体支援	2022年5月~	23名	敦賀市いあいプラザ、美浜町はあとびあ、大飯
(5)関連付随事業	事業(ウクライナ支援)	12月	_	中学校体育館、ワネッツ小浜事務所

# 2-2 その他事業(収益事業) 収益事業は実施しなかった。

# 2-3 理事会および総会

(1)定款に基づく理事会および総会を以下のとおり実施した。

区分	年月日	場所・方式	出席	議事状況
理事会	2022年	テレワーク方	出席8名	2022 年度活動計画について
	6月1日	式	欠席0名	役員改選について 他
総会	2022年	テレワーク方	出席 25 名	2022 年度活動計画について
	6月26日	式	欠席 13 名	役員改選について 他

# (2)ワネッツ役員会規定に基づく役員会を以下のとおり実施した。

回	年月日	場所・方式	出席	議事状況
2021年度	2022年	テレワーク	出席9名	第4期決算について
第4回	5月31日	方式	欠席1名	第5回ワネッツ定期総会について 他
2021年度	2022年	テレワーク	出席9名	戦略本部実働演習の実施
第5回	6月1日	方式	欠席1名	防災基礎研修事業の実施
第1回	2022年	テレワーク	出席9名	2022 年度執行体制について
	6月26日	方式	欠席1名	福井県知事宛報告書の提出について

第2回	2022年	テレワーク	出席9名	戦略本部実働演習実施計画
	8月11日	方式	欠席1名	アウトリーチワークショップ 他
第3回	2022年	テレワーク	出席9名	ウクライナ支援の実施
	9月4日	方式	欠席1名	認定 NPO 法人申請
第4回	2022年	テレワーク	出席9名	レクビデオの作成
	10月16日	方式	欠席1名	コマンドシステム演習の実施
第5回	2022年	テレワーク	出席8名	MS6 広域避難所支援実施計画
	10月23日	方式	欠席2名	MS8 屋内退避支援実施計画 他
第6回	2022年	テレワーク	出席7名	アウトリーチワークショップ計画
	11月29日	方式	欠席3名	放射線防護ビデオ作成 他
第7回	2022年	テレワーク	出席8名	「お困りごとお聞きします」の結果
	12月25日	方式	欠席2名	ウクライナ支援の支援先の
第8回	2023年	テレワーク	出席7名	若狭工ネ研研修実施計画
	1月22日	方式	欠席3名	311特別企画事業の実施 他
第9回	2022年	テレワーク	出席7名	3 1 1 特別企画事業の実施(修正)
	2月19日	方式	欠席3名	NEATR 定期総会の実施 他
第10回	2022年	テレワーク	出席7名	3 1 1 特別企画事業実施計画
	3月23日	方式	欠席3名	原安協との協定の締結 他

(3)監査については以下のとおり実施した。なお、それぞれの監査報告書は 2021 年度決算報告書に掲示した。

回	年月日	場所・方式	出席	議事状況
第1回	2021年	テレワーク	監事2名	2020年度決算監査
	5月10日	方式	理事1名	

#### 2-4 運営に関する事項

#### (1)重要な規定の制改定および契約の締結

特になし。なお、現状の重要な規定および契約は以下のとおり。

- ・ 特定非営利活動法人ワネッツ定款(最終改定 2018 年 7 月 3 日)
- WANETS 規定第1号 NPO 法人ワネッツ役員会規定(最終改定 2020年5月10日)
- WANETS 規定第2号 NPO 法人ワネッツプライバシーポリシー(最終改定2020年5月10日)
- WANETS 規定第3号 NPO 法人ワネッツ旅費規定(最終改定2020年5月10日)
- WANETS 規定第4号 NPO 法人ワネッツ会計規則(最終改定2020年5月10日)
- ・ WANETS 規定第6号 NEATR 隊員規約(最終改定 2020 年 5 月 10 日)
- ・ WANETS 規定第7号 NPO 法人ワネッツ緊急時対応計画(制定2020年12月27日)
- ・ 株式会社 EPR クリエイト「事務処理委任に関する契約書」(締結 2017 年 4 月 12 日)
- ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社「NPO 総合活動保険契約(締結 2018 年 8 月 25 日)
- ・ ワネッツシニアアドバイザー「ワネッツシニアアドバイザー契約」(締結 2018 年 6 月 20 日)
- ・ 公益財団法人原子力安全技術センター「原子力防災事業の実施に係る協定」(締結 2018 年 4 月 16 日)

## (2)ワネッツの正会員および賛助会員の獲得

ワネッツ発足当時より、ダイレクトメール方式で新規の正会員・賛助会員の獲得を行ってきたが、2019 年以降、個人情報の保護の観点から、既存の NEATR 隊員や寄付者への勧誘しかできなくなったため、新規会員獲得数が大幅に減少した。

2022 年度は、関電退職者組織向けで勧誘パンフレット配布、労働組合への紹介依頼などの努力はするもの、減少傾向に歯止めがかからなかった。

また、2020 年度に女性会員 1 名が脱会したことにより、女性会員がゼロとなった。この件も対応する必要がある。

	第	1期	第2	2期	第	3期	第4	4期	第!	5期
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
正・賛会員数	5 7	9	6 7	9	6 1	9	6 1	9	55	10
期別めより増	18	9	1 1	0	0	0	2	0	0	1
期別めより減	3	0	1	0	6	0	2	0	6	0

	第6	5期
	個人	団体
正・賛会員数	5 0	9
期別めより増	0	0
期別めより減	5	1

## (4)NEATR の隊員の獲得

NEATR 隊員の高齢化に伴い、脱退が相次いだ。会員と同様、関電退職者組織向けで勧誘パンフレット配布、労働組合への紹介依頼などを行ったが、成果とはならなかった。今後、抜本的な対策を検討する必要がある。

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
隊員数	1 3 9	1 3 3	129	119	117
期初めより増	1 5	1	3	0	2
期初めより減	1 4	7	7	1 0	4

	第6期
隊員数	109
期初めより増	0
期初めより減	8

#### (5)継続的な寄付収入の確保

ワネッツ設立当初から、寄付により税制面でメリットがでる認定 NPO 法人格取得、維持を目指して、その法人格取得の1つの条件である寄付者3000円以上、100人以上を活動のアウトカム指標として、寄付金獲得活動を実施している。

2022 年度期は、前年度の繰越金が多かったこともあり、通常の手法によるアウトカム達成は非常に困難を極めたが、役員による募集努力の結果、一般から 13 名の寄付を得て、2022 年度のアウトカムを達成することができた。

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
寄付者数(除役員)	120	101	106	101	102
3000 円以上	109	101	106	9 9	101
寄付総額(円)	1,145,517	815,900	797,000	707,000	712,955

	第6期
寄付者数(除役員)	101
3000 円以上	101
寄付総額(円)	715,118

この寄付者については、公開用名簿を小浜事務所に置いている。その中には、未使用はがきなど、物品寄贈者を正当な評価額とともに掲載している。

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
寄贈者数	0	1	1	1	0
内容	_	未使用はがき	未使用はがき	未使用はがき	
評価額(円)	0	46,837	868	2,202	0

	1
	第6期
寄贈者数	0
内容	_
評価額(円)	0

#### (6)補助金等の申請

ワネッツ設立当初から財政面での安定化を目指すため、民間含め各種団体の補助金の獲得に取り組んでいる。2020 年度はキリン福祉財団の助成金の獲得にチャレンジしたが、昨年度に引き続き成功しなかった。

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
応募件数	4	2	1	1	1
応募先	福井県、エネ 庁、日本財団	復興省、日本 財団	福井県	キリン福祉財団	福井県ワクワ クチャレンジ
採用件数	2	0	0	0	0
補助額(円)	<b>※</b> 254,000	0	0	0	0

	第6期
応募件数	1
応募先	福井県ワクワ
心券兀	クチャレンジ
採用件数	0
補助額(円)	0

※ 有志で申し込んだものを含む

#### (7)コマンドシステムの導入、定着

コマンドシステムは、2017年2月に㈱EPR クリエイトが開発し、それ以降、同社と「事務処理 委任に関する契約」を締結し、平時、緊急時を問わず NEATR 隊員を指揮統制するツールとして使 用している。このシステムは、2019年度の試行を経て2020年度から、それまでのメールとホームページ貼り付け方式から動画指令方式に変更した。これは、即応性と切実性を訴え、隊員の社 会貢献意識を呼び起こし実際の緊急時を含め参加率を高めるために行ったものである。

このスマホを用いた動画方式の指令システムは、調べた限りにおいて、国内国外とも例がない ものであり、今後、より使いやすいものとなるよう、改善をしてゆかなければならない。

2022 年度は、8月の NEATR 戦略本部実働演習および 11月の 2022 年度コマンドシステム演習

でこの NEATR コマンドシステムを用いた。

# (8)ホームページの運営、ワネッツ会報および NEATR 機関紙の発行

NEATR 専用ホームページ(neatr@neatr-org.jp)は、NEATR コマンドシステム用ツールであったが、2021 年 3 月に NPO 法人ワネッツの定款など法定開示資料や寄付ページを設けるなど全面リニューアルし、「NEATR ホームページ」と改名した。その後、2021 年 12 月に、「放射線量空気の壁打破事業」において、レップツーレブキャンペーンの特設サイトを設けた。その後、ホームページの動画テキストに放射線防護テキスト(放射線、線源、線量、パスウェイ)を張り付けた。

このサイトへのアクセス回数は、ホームページ設置以降キャンペーン開始前が4.5回/日、キャンペーン中が5.3回/日であったが、2022年度は2.9回/日へと低下した。これは2022年度のNEATR 戦略本部実働演習および NEATR コマンドシステム演習において、コマンドシステムの使用を消遥しなかったためと推定される。

ワネッツ会報は、ワネッツ会員とワネッツとをつなぐ場として重要なものと位置づけており、2022 年度は、下記記載の機関紙とあわせて、都合3回発刊した。

号	発刊日	主な内容	
14	2022.6.6	2021 年度 (第 5 期) NPO 法人ワネッツ	
		重要 第6回NPO法人ワネッツ通常総会について 他	
15	2022.10.26	福井県知事に認定 NPO 申請をしました	
		9月末現在の予算の執行状況について 他	
16	2023.2.17	認定特定非営利活動法人ワネッツになりました	
		大規模事業の実施状況について他	

NEATR 機関紙は、情報共有面からの組織維持をはかるためと、隊員相互の交流の場を提供するため、会報と同じタイミングで発刊している。

号	発刊日	主な内容	
17	2022.6.6	災害時の外国人支援の容より重要なのは主語だ	
		活動報告 2021 年度コマンドシステム演習 他	
18	2022.10.26	来月11月上旬、NEATRの演習、隊員の皆様のご参加をぜひお願いします	
		活動操告 NEATR 戦略本部実働演習 他	
19	2023.2.17	3月25日(土)、総会等重要な活動を実施します。	
		活動報告 意外な展開が・・2022 年度コマンドシステム演習 他	

NEATR 機関紙「ウィズハート」の内容充実のため読者アンケートを過去3回実施してきたが、2020 年度からは、機関誌・会報に同封して総会案内(返信はがき)、活動参加案内(返信ハガキ)、会費・寄付金領収書送付等を行ってきており、経費的にはメリットが出るものの、事務処理が輻輳し機関紙アンケートまで手がまわらない状況となり、中止した。フィードバックは継続的改善に重要なため、今後の再開を目指す。

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
実施時期	2017年12月	2018年12月	2020年2月	_	_
アンケート回収率	38.4%	38.0%	12.5%	中止	中止

	第6期
実施時期	_
アンケート回収率	中止

# (9)ワネッツシニアアドバイザー(WSA)との連携

2018 年 4 月、ワネッツ役員会方針に基づき外部組織が主催する研修会等のアドバイザーができる知識、技能を持つ人を集め、ワネッツシニアアドバイザー(WSA)を組織(現在 15 名)した。2018 年度に初回の原子力安全技術センターの防災基礎研修のアドバイザー派遣を実施し、2022年度に、4 年ぶりとなる同研修へのアドバイザー派遣を実施した。

# 【防災基礎研修アドバイザー派遣】

年月日	派遣先	実施内容
2022年6月13日,14日	敦賀OFC	GM管測定、NaIシンチ測定
2022年6月20日,21日	サンドーム福井	GM管測定、NaIシンチ測定
2022年7月4日,5日	能登ふれあい文化センター	GM管測定、NaIシンチ測定
2022年7月6日,7日	石川県青少年研修センター	個人線量計測定、GM管測定、NaIシンチ測定

初回の派遣以降、派遣のない時期のアドバイザーの知識、技能の保持向上を目指し、メンバーや NPO 法人会員を対象に WSA ニュースレターを発行してきたが、2022 年度にアドバイザー派遣があったためこのニュースレターは 122 号で打ち切った。これに変わるものとして、NEATR ホームページに動画を掲載する「ワネッツオピニオン」を発行した。

# 【WSA ニュースレター】

号	発刊日	テーマ
115	2021.4.10	日本侵略のモデル
116	2022.5.3	憲法記念日に思う
117	2022.6.1	ふざけるか! レベルの判決
118	2022.7.27	暗殺現場 もしその現場にいたなら(動画)
119	2022.8.12	津波、不思議な世界(動画)
120	2022.9.11	セキュリティクリアランス制度と個人信頼性確認(動画)
121	2022.9.23	円安はどうなる リフレ派の見方(動画)
122	2022.12.31	安全について(動画)

# 【ワネッツオピニオン】

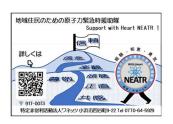
号	発刊日	テーマ
0	2022.12.31	(サンプル)容疑者は推定無罪(動画)
1	2023.1.25	原子力政策転換、国際基準の導入(動画)

以上

# 地域住民のための原子力緊急時援助隊(NEATR)

# 2022年度

# 活動報告書添付資料





2023年5月28日 特定非営利活動法人 ワネッツ

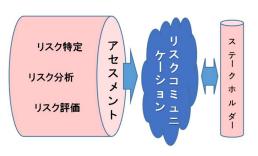
# NPO法人ワネッツとNEATRの関係

1

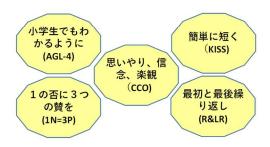
	地域住民のための原子力緊急時援助隊 (NEATR)	特定非営利活動法人ワネッツ
性格	任意団体 ( <b>2016(H28)年12月17日発足</b> ) 平常時、緊急時とも実際の活動を行う	特定非営利活動法人 ( <b>2017(H29)年4月6日設立</b> ) NEATRの運営を行う
目的	リスクコミュニケーションによる地域レジリ エンス強化活動	リスクコミュニケーションにより、地域の防 災・減災力の向上に寄与する
参加 資格	若狭地方原子力職場の退職者で若狭方面また は、京阪神方面等に居住、会費等なし	制限なし 加入金、年会費が必要
義務	<b>隊員の義務は一切なし</b> 、加入・脱退自由	申込必要、定款に基づき権利、義務あり
現勢	隊員109名	正会員 35名、賛助会員 24名 (内法人9)
会計	NPO法人ワネッツが実施 隊員の平常時活動は旅費規定適用、 <b>緊急時は</b> ボランティア	法人会計規則準拠(本会計と事業会計) 収入は、会費、寄付金、事業収入等 支出は、人件費、事業支出、管理費等
会議体	NEATR戦略本部会議(平時、緊急時) (役員会規定およびNEATR規約による)	役員会(役員会規定による) 理事会(ワネッツ定款による)
構成	NEATR指令職:隊長1名(肥田善雄)、副隊1名、 班長6名(NEATRコマンドシステム適用)	理事長1名(肥田善雄)、副理事長2名、理事4 名、理事・事務局長1名、監事2名 (会計規定、旅費規定等整備)

# 活動の特徴1 リスクコミュニケーション

2



NEATRで用いるリスクコミュニケーションプロセス



NEATRで用いるリスクコミュニケーション技法

**2019**年9月、NPO法人ワネッツの定款の目的を改正し「リスクコミュニケーションを行う組織」としました。

ねらいは以下のとおりです。

# □平常時も緊急時も一緒=ワンボイス

起きたとしてコミュニケーション 緊急時に新しいことは言わない 念のため・・起きたら説明できない

## □どこでも同じ用語=ターミノロジー

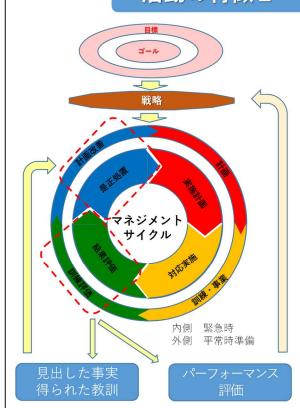
ミリよりマイクロが大きい・・え! グレイよりシーベルトで教えて・・ええ! 放射線は貫通するから危険・・えええ~!

# □前向きメッセージ発信=信頼を得るため

人々は技術的な判断はしない 信頼している人・組織の声を聴く 信頼を得るために、コミュニケーション技法活用

# 活動の特徴2 マネジメントシステム

1



□ 平常時の事業および緊急時の対応とも、マネジメントシステムを適用し、PDCAサイクルをまわす。(左図参照)

このため、作成した計画には、脆弱性があるものとして、それを実施段階で"事 実"として見出し、その事実から"教訓"を得る方式をとる。

- □ 平常時の事業は、**緊急時の準備**として位置付ける。(講習会講師派遣などは"顔の見える関係の構築")
- □ 平常時事の業であっても、原則として、 NEATRコマンドシステムを使い要員参集、 ミッション実施および報告を行う。
- 平常時および緊急時とも、目標は高めに 置き、その高い目標にどれだけ近づいた かをパーフォーマンス評価する。

# 活動の特徴3 コマンドシステム

4

# システムの構成

#### □コールシステム

隊員のスマホ等情報端末に出動要請を出す とともに、担当するエリアとそこでのミッ ションを連絡するシステム。

# □コマンドウェブ

隊員にミッションの中身を示し、隊員が進 捗状況を逐次入力し、完了を報告するウェブ コンテンツ。

- ・ICSフォームおよびミッションシートICSフォームおよびミッションシートは動画で直接指令する
- ・応答チェックボックスウェブコンテンツに含まれる進捗状況入力用の枠。

# □ハード構成

パソコンまたはサーバー:2台、インターネット回線:2回線、メール機能およびウェブ 閲覧機能のある情報端末:必要数

# 

#### 2021年度 NEATRの活動実績 活動項目 実施日 参加(外部) 新聞等報道 2022.11.4(土) 23名 2022年度コマンドシステム演習 1 2022.11.5(日) (95名) 災害時外国人支援実働演習 2021.5.27(土) (9名) 2022.8(日) 18名 NEATR戦略本部運営演習 1 2022.8.28(土),29(日) (8名) 3 1 1 特別企画事業 2023.3.25(土) (4名) 10名 NEATR戦略本部運営技術開発事業 2022.2~2023.3 (0名) 2022.12~2023.1 4名 2022年度若狭湾エネ研受託研修事業 (2023.1.24日(水)) (10名) 2022 6 24名 防災基礎研修事業 2022.7. (120名) 12名 放射線空気の壁打破事業(継続) 2020.6~ (20名) 10名 アウトリーチワークショップ 2022.6~ (0名) 23名 災害時実働団体支援事業(ウクライナ支援) 2022.5~2022.12 (0名)

# 2022年度コマンドシステム演習(その1)

- 1. 日時 MS6 2022年11月5日(土) 11:00~16:00 MS8 2022年11月6日(日) 08:30:~1300
- 2. 場所 NS6 大飯中学校体育館および美浜町はあとぴあ MS8 美浜町佐田地区および美浜町あはとぴあ
- 3. 目的

2022年度NPO法人ワネッツ活動方針に基づき、立地町との 顔の見える関係を構築するとともに、コマンドシステムの継続 的改善に資する。

#### 4. 実施内容

大飯中学校体育館での訓練避難者対象の「よくわかる放射 線ブース」の設営運営および美浜町佐田地区の訓練屋内避 難者対象の「お困りごとお聞きします」の実施(詳細次ページ)

#### 5. 評価(事実と教訓)

- ・ 福井県等による事前の訓練計画の発表がなかったことにより、 参加者募集が遅れ、かつ募集はがきの返信が少なった。参加 者募集は工夫して早くすべき
- 国際基準をベースとした模型等があまり使われなかったため、 内部で「リスク防護」の考え方等を普及する
- ・ 録画ビデオで外部評価者に評価してもらう予定であったが、 評価に耐えうるビデオとならなかったため、撮影機材の最適化 や撮影体制の強化を図っていく必要がある。

**美浜町への結果背説明** 規制庁への意見書の提出(後に撤回)

#### 実績スケジュール

2022年度NRATRコマンドシステム演習の概要 (令和4年度 国、福井県、美浜町等原子力総合防災訓練)



美浜町長およびおおい町長事前説明資料

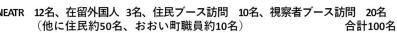
総支出

41,140,410円 内評価支出

# 2022年度コマンドシステム演習(その2)

【MS6 広域避難所支援 よくわかる放射線ブースの設置、運営】 2022年11月5日(土) 11:00~16:00

NEATR 12名、在留外国人 3名、住民ブース訪問 10名、視察者ブース訪問 20名











ダイジェスト版(動画)はこち

https://youtu.be/Cxlzvhu4R



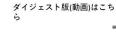




# 2022年度コマンドシステム演習 (その3)

【MS8 屋内退避支援 お困りごとお聞きします】 2022年11月6日(日) 08:30:~1300

NEATR 11名、在留外国人 1名、住民 4名 合計16名





URL: https://youtu.be/vw6ERJWf2c













# 災害時外国人支援実働演習



開会・理事長あいさつ



放射線測定実演



水防訓練見学(まずはVoiceTra操作を)



ジェスチャーゲーム(残念正解なし)



翻訳トーク(記者も熱心に)

テキストトーク(パソコン打ち早い)

- 1. 日時 2022年5月27日(土) 18:30~19:40
- 2. 場所 小浜市食文化館 参加者 NEATR6名、在留外国人3名
- 3. 目的 実際の原子力災害時に、何をすれば 外国人の支援が受けられるかを確認 する。
- 4. 実施内容 在留外国人と、ジェスチャー、翻訳器 およびテキストによる意思伝達を実験 的に行う。
- 5. 評価(事実と教訓)
  - ・ ジェスチャーは双方の意思伝達に 有効な手段である。
  - 翻訳機を使った場合は、日本語に 主語が入らないため、外国人に意思 が伝わりにくい。
  - 和文の非論理的なイメージテキスト 文の翻訳は、直訳ではまず伝わらな い。

総支出 209,908円 内評価支出

135,500円

# NEATR戦略本部運営演習 (その1)



- 1. 日時 公開審査会 2022年7月16日(土) 事前説明会 2022年8月21日(日) 本部演習 2022年8月27日(土), 28日(日) 10~13時
- 2. 場所 福井県国際交流センター、敦賀市あいあいプラザ
- 3. 目的

NEATR戦略本部の実践的演習を行うとともに、災害 時に学生や外国人からの支援の可能性を探る。

#### 4. 実施内容

- (1)福井県ワクチャレへの応募、ボランティア体験への参加
- (2)本部演習参加学生等への事前説明
- (3)戦略本部実働演習(NEATR隊員は在宅演習)

#### 5. 評価(事実と教訓)

- ワクチャレは不採用、ボランティアは申込なし、よって事 前説明会は自前で実施
- ・ 演習に来ていただいた在留外国人とは、チャンネルが できたため、今後、そのチャンネルを生かす必要がある。
- ・ 演習そのものは、力点が外国人支援可能性調査にいっ たため、NEATR隊員の在宅応答は低調となった。このこ とは少し考えなければならない

# 誰にでもできる 原子力災害時の住民支援プロジェクト



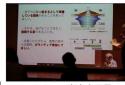


2022年7月16日(土) 特定非営利活動法人ワネッツ

ワクチャレ発表資料







ワクチャレ審査会風景

326,050円 内評価支出

325,000円

# NEATR戦略本部運営演習(その2)

【MSO NEATR戦略本部運営演習】 敦賀市あいあいプラザ 2022年8月27日(土)、8月28日(日) 10:00:~1300

NEATR 10名、学生・外国人等 6名

ダイジェスト版(動画)はこち



11



演習開始宣言



リエゾンからの報告(事前情報なし)



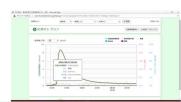
動画指令の発信



動画指令のミッションシート



演習で使ったCOP



演習で使ったモニタポスト値

# 311特別企画事業





- 2. 場所 関西電力㈱美浜発電所PRセンターおよび構内
- 3. 目的

「若狭の地で東電福島事故のような悲惨な住民避難を起こさせない」を再確認するために、3月11日近傍で行う。

#### 4. 実施内容

現職との意見交換、美浜発電所構内の見学、美浜発電所 長のご講演、原子力学会原子力シニアアドバイザーのご講 演を行った。

## 5. 評価(事実と教訓)

- ・参加者が目標20人に対し実績9人となった。従来と遜色ないが、参加人数の目標未達は現実的な問題としてとらまえる必要がある
- ・アンケート評価点は4.4点(5点満点)と高く、外部講師による 講演の評価が現場見学よりも評価が良い。相乗効果現場で 実施したことの相乗効果と考えられる。
- ・次年度の継続を望む回答が多かった。アンケートでいただいたご意見を評価し、次年度にも同種事業を取り組むこととする。



開会・隊長あいさつ



美浜発電所長ご講演



シニアアドバイザーご講演

各所への意見提起内容

総支出

323,620円 内評価支出

206,400円

# NEATR戦略本部運営技術開発事業

13

12

- 1. 日時 2022年3月 ~ 2023年3月
- 2. 場所 ワネッツ小浜事務所、各指令職自宅
- 3. 目的

NEATRの活動は戦略本部で計画・実施・評価するため、その運営技術を開発する。

#### 4. 実施内容

NEATR戦略本部の活動に資するため、ウクライナ戦争を 題材に戦略について学ぶとともに、既存または新規のリスク モデルの有効な活用手法の技術を開発する。

#### 5. 評価(事実と教訓)

- 戦略にも事前の準備が必要である。ウクライナ戦争では大統領を守るという目標に対して事前に「私も戦う」という国防意識を高める戦略が立てられていた。
- リーダーが直接発するメッセージは極めて有効である。ウクライナでは「私はキーウにいる。大臣もいる」というSNSメッセージ、各国国会へのビデオメッセージが、国際的なウクライナ支援を可能にした。
- ・ 事前の戦略準備とSNSリーダーメッセージの具体的内容 は今後検討する必要がある。



世界の福島事故教訓の用語分析と技術開発



## 2022年度若狭湾エネ研受託研修事業

- 1. 日時 2023年1月20日 9:00~17:00
- 2. 場所 福井県若狭湾エネルギー研修センター
- 3. 目的

若湾湾エネ研との「原子力発電所従事者の放射線防護 研修」契約書に基づき、受託研修事業を実施する。

4. 実施内容

昨年度教訓を踏まえ、アセスメント実習の簡略化をはか り、基礎要素の動画説明を交えた研修を実施する。

- 5. 評価(事実と教訓)
  - ・ 受講者評価点が過去最低となった。テキストに動画の サムネイルをつけていたが、主にはそれが読めないとい う理由であった。
  - ・ 動画再生の最中にそれを見ていない人がいたし、前方 のスクリーンを見ずにテキストを読んでいた人がいた。し かし、テキストにないことをホワイトボードに書くと、それ には注視をしていた。
  - このため、動画テキストをやめ、テキストに引き付ける ようなトピックスを挿入していく。





225,684円 内評価支出

# 防災基礎研修事業



1. 日時/場所 2022年6月13日、14日 敦賀オフサイトセンター 2022年6月20日、21日 鯖江サンドーム福井 2022年7月4日、5日 能登ふれあい文化センター 2022年7月6日、7日 石川県青少年研修センター

2. 目的

原子力安全技術センターと締結した「原子力防災事業の実 施に関する協定書」に基づき、原子力防災基礎研修にアドバ イザーを派遣する。

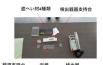
4. 実施内容

個人線量計、GM管およびNaIシンチの取り扱いに関する受 講者へのアドバイス。

- 5. 評価(事実と教訓)
- AARを実施した結果、会場管理者との事前調整、終了後現状 未復帰の問題、受講者へ迷惑をかけた発言、白衣につけた線 源の未回収の問題、バリウム線源の分配などが記録された。
- これらの対策については、次回の防災基礎研修の派遣アドバ イザー事前説明会で説明する
- バス運転手対象の応用研修のアドバイザーが派遣が可能か 打診があったが、住民が防護福を着ていないないのにアドバイ ザーとして運転手には着るということができないとして断った







NaIシンチの実習配置

GM管の実習配置

667,773円 内評価支出

# 放射線空気の壁打破事業(継続中) (レップツーレブキャンペーン)

16

- 1. 日時 2021年5月~(継続中)
- 2. 場所 ワネッツ小浜事務所および各指令職自宅
- 3. 目的

社会的な原子力安全を構成する一員として、放射線量の単位に関して社会インパクトを与えることで、集団的放射能不安心理という空気を打破することを目指す。

#### 4. 実施内容

計量法改正にかかるロビーイングを継続するとともに、動画作成やUNSCEAR、ATENAへの意見提起等を行った。

#### 5. 評価(事実と教訓)

- ロビーイングは相手側都合により進んでいなが、努力する必要がある。
- ・動画はNEATRホームページに張り付けたが閲覧回数は低調なままであった。コンテンツの出来具合がよくない可能性がある
- ・ 関係機関意見提起は、各種パブリックコメントへの 意見提起を含め実施してきている。一定の効果があ ると判断しており、今後とも継続する。







総支出 1,397,578円 内評価支出 841,700円

# アウトリーチワークショップ

17

NPO法人ワネッツの定款で定めた リスクコミュニケーションについ て、NEATR隊員の基本技能※1を高 め、地域住民との顔の見える関係 の構築に資する。

> く簡潔に(keep it short and simple) [初と間後録り返し(first and last repe 小字4年生でもわかる言葉で(average: 一つの点軽に三つの楽観を(one negat



実施計画書

放射線測定器を
使えるものに
物変解を削速入グネッツによる
アウトリーチワークショップ



総支出

配布用パンフレット 24340円 内評価支出

支出 22600円

- 1. 日時 2022年11月 ~ (継続中)
- 2. 場所 ワネッツ小浜事務所
- 3. 目的

放射線測定器の備えてある機関(約100か所)に出向き、放射線測定ワークショップを行うことで、関係者との顔の見える関係の構築に資する

## 4. 実施内容

福井県への提案して、関係機関へ紹介していただいたうえで、現地に備えてある放射線測定器を用いてワークショップを行う。

#### 5. 評価(事実と教訓)

- ・「防災基礎研修」に参加された福井県の方が、同研修に高い評価を与えていただいたため、同じような研修の仲介を申し入れた。現時点では回答がない
- ・しかし、2022年度コマンドシステム研修で、福井県より県防災 訓練広域避難所の放射線ブースの設置を要請されたため、 次回の福井県訓練に備えて、体制等準備する必要がある
- ・実施個所数が多いため、準備にあたては体制を組む必要が ある。

# アウトリーチワークショップ

17



- 1. 日時 2022年11月 ~ (継続中)
- 2. 場所 ワネッツ小浜事務所
- 3 日於

放射線測定器の備えてある機関(約100か所)に出向き、放射線測定ワークショップを行うことで、関係者との顔の見える関係の構築に資する

# 4. 実施内容

福井県への提案して、関係機関へ紹介していただいたうえで、現地に備えてある放射線測定器を用いてワークショップを行う。

#### 5. 評価(事実と教訓)

- ・「防災基礎研修」に参加された福井県の方が、同研修に高い評価を与えていただいたため、同じような研修の仲介を申し入れた。現時点では回答がない
- ・しかし、2022年度コマンドシステム研修で、福井県より県防災 訓練広域避難所の放射線ブースの設置を要請されたため、 次回の福井県訓練に備えて、体制等準備する必要がある
- ・実施個所数が多いため、準備にあたては体制を組む必要が ある。